

科目名 Course Name	介護の基本II Fundamentals of care II			ナンバリング No.	J2-004		
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	秋山巖						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは月・火・木・金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程は必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>「介護の質」を向上させるためには「尊厳を支える介護」や「自立支援に向けた介護」が不可欠であり、介護実践の場で展開されなければならない。それが介護の基本的要件とも言える。本授業では、「介護」と「利用者主体」について考え、利用者の立場で考える姿勢を身につける。</p> <p>①QOLの意味を理解し、その人らしい生活を支援することの重要性を説明できるようにする。                  ②ノーマライゼーションの歴史的背景と考え方を説明できるようにする。                  ③利用者主体の考え方やその具体的な方法について述べられるようにする。                  ④自立(自律)の概念と自立支援に必要な視点を挙げられるようにする。                  ⑤自立に向けた介護の視点から、「自己選択・自己決定」「エンパワメント」「個別ケア」の必要性とあり方について説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義の他、事例検討、グループワーク、ディスカッション、視聴覚教材の視聴等を取り入れ、意見交換や発表を通して自己の考えを深める。						
学習成果	L01						
	L02	利用者を生活の主体者として捉え、「尊厳の保持」「自立支援」の観点から、人権やプライバシーに配慮した利用者主体の介護を実践することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	事例検討やグループワークの発表後は、教員が講評しフィードバックする。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第3・4巻「介護の基本I・II」中央法規出版 その他、必要に応じて資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	●目的意識をもって授業に取り組み、グループワークでは積極的に意見交換して欲しい。●飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机の上に置かない。●やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①使用教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④グループワーク時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。		20		
レポート/作品	S評価のレポートは、課題のテーマに沿って学びや気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。		20		
発表					
小テスト					
試験	「尊厳を支える介護」と「自立に向けた介護」について、法律や言葉の意味、介護のあり方等を出題する。		60		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・欠席時の対応など) 介護の特性と対象者支援の基本的理念について
	事前・事後学習	テキストやノートを整理し、介護福祉士の義務規定についてまとめる。
2	授業内容	尊厳を支える介護① 法律等からみる尊厳の保持、QOLの理解について
	事前・事後学習	テキストやノート・配布資料を整理し、尊厳の保持に関する法律や制度をまとめる。
3	授業内容	尊厳を支える介護② ノーマライゼーションの歴史的背景と理念、ノーマライゼーションと介護
	事前・事後学習	ノーマライゼーションの理念についてノートにまとめる。「普通」とは何かを考える。
4	授業内容	尊厳を支える介護③ 利用者主体(不適切な介護事例から考える) 映像視聴、グループワーク
	事前・事後学習	映像から、「普通」ではない場面を挙げ、不適切な状況による問題や影響を考える。指定用紙にまとめる。
5	授業内容	尊厳を支える介護④ 利用者主体(不適切な介護事例から考える) グループワーク
	事前・事後学習	不適切な状況の改善方法と生活支援を考える。指定用紙にまとめる。
6	授業内容	尊厳を支える介護⑤ 利用者主体(不適切な介護事例から考える) グループディスカッション、まとめ
	事前・事後学習	第4・5回でのグループワーク内容を振り返る。利用者主体の介護について考える。
7	授業内容	尊厳を支える介護⑥ 利用者主体の考え方、「プロフェッショナル 介護福祉士 和田行男の仕事」の視聴【レポート1:利用者主体とは、提出は第9回目の授業時】
	事前・事後学習	これまでの学習内容を整理する。利用者主体の介護について自分の考えを記述する。
8	授業内容	自立に向けた介護① 自立支援、自立と自律の考え方
	事前・事後学習	授業での学習内容(ノート)を整理し、自立や自立支援の捉え方をまとめる。
9	授業内容	自立に向けた介護② 自己選択・自己決定(自己の生活から考える)
	事前・事後学習	授業での学習内容(ノート)を整理し、自己選択・自己決定のあり方を考える。
10	授業内容	自立に向けた介護③ 自己選択・自己決定(事例検討、実践事例の紹介)
	事前・事後学習	事例をもとに、自己選択・自己決定のあり方を考える。
11	授業内容	自立に向けた介護④ ドキュメンタリー映像「それでも、前へ」の視聴
	事前・事後学習	映像を振り返り、自立や自立支援のあり方を考える。
12	授業内容	自立に向けた介護⑤ 生活意欲への働きかけ
	事前・事後学習	授業での学習内容(ノート)を整理し、介護における自立支援を考える。
13	授業内容	自立に向けた介護⑥ エンパワメント
	事前・事後学習	テキストやノート・配布資料を整理し、自立支援とエンパワメントについて考える。
14	授業内容	自立に向けた介護⑦ 集団ケアと個別ケア、個別ケアの必要性 グループワーク 【レポート2:尊厳と自立の視点から介護について考える、提出は次回授業時】
	事前・事後学習	グループワーク内容を振り返り、個別ケアについて考える。介護のあり方について自分の考えを記述する。
15	授業内容	自立に向けた介護⑧ 個別ケアのあり方 尊厳の保持と自立支援、これからの介護および介護福祉士のあり方
	事前・事後学習	これまでの学習内容を整理する。尊厳と自立の視点から、介護について自分の言葉で述べられるようにする。